

夜景サミット2024 in北九州開催!!

日本新三大夜景都市・全国1位で再認定

日本新三大夜景都市は「夜景観光コンベンション・ビューロー」が、地域活性化に役立てる目的で3年ごとに認定されています。今年は10年ぶりに北九州で開催されました。

全国の自治体・民間の夜景観光の関係者4300人が一堂に集まりました。

毎年好評を博している「夜景サミット」も16回目を迎え、本年も特別企画を皮切りに、「夜景観光の成功事例」の発表や第19回「日本夜景遺産」の認定授与式などが行われました。また本年は、「日本新三大夜景」の改選年という大きな節目となり、大きな注目を浴びました。さらに、サミット開催記念イベント「小倉城ドラマッピング」



や「紫川ナイトスペクタクル」の視察ツアー、懇親会など、盛りだくさんの企画で行われました。本市は皿倉山から見える夜の市内の様子や、若戸大橋のライトアップなど夜景の美しさで知られ、前回の投票で獲得したポイントが1位となり認定を受けていました。今回も関係者の投票で、

1位 北九州 / 2位 横浜市 / 3位 長崎市となり再び1位を獲得しました。

日本新三大夜景都市の1位となったブランド力を生かして、国内外からの誘致につなげていきたいものです。

これまでの成果と今後の取組

皆様の温かいご支援を受け、4期16年北九州市長に送っていただきました。厚い感謝の気持ちを抱きつつ、改めてこれまでの取組や課題を整理しながら、今後の、より良い北九州を目指して、市議会を更に活発にしていく事が肝心と考えています。

これまで「医療の現場から」を掲げ、皆様が健康で安心して生活できる街づくりに向け切磋琢磨してきました。これまでの結果や成果については一定程度に納得できるものであったと自負しています。

議員・政治家は皆様のご要望を様々な形で政策提言やアイデアとして訴えますが、肝要なのは、その努力の過程を皆様に伝え、それを結果や成果として実現させることであり、それが出来なければ「意味が無い」と思っています。

政治は市民・有権者のものであり、決して政治家のものではありません。その意味で、一人でも多くの方に政治(特に市議会)に興味・関心を持っていただき、市議会だよりや、市議会中継などを通して、より北九州や八幡の街の現状や将来の姿を思い浮かべていただくと同時に、その思いを是非、我々議員にぶつけていただきたいと切に願っています。

人口減少や街の賑わいづくりなど大きな課題を抱えている北九州にとって、現在、少子化対策の取り組みが最も重要であると考えています。教育環境の充実や子育て環境の整備など、課題の解決は決して安易なものではありません。

このような難しい課題を皆様と共有しながら、そして多くのお知恵やご提案を頂きながら、基本である「人への投資」、必要不可欠な「インフラ整備」を政策として打ち出していかなければなりません。

今後も、皆様とともに実効性のある政策提言を行うなど、その実現に向けて邁進してまいりたいと思っています。

思いに応える事が議員の使命です!

大きな課題から小さな問題まであらゆるご相談にお答えします。皆様の課題解決こそが白石かずひろの使命です。



プロフィール	生年月日	昭和31年8月21日 八幡東区生まれ	職歴	福岡県済生会八幡総合病院勤務(診療放射線技師)
	学歴	北九州市立大蔵小学校卒業 北九州市立大蔵中学校卒業 福岡県立北九州高校卒業 川崎医療短期大学放射線技術科卒業		平成21年 北九州市議会議員 初当選 平成25年 北九州市議会議員 2期目当選 平成29年 北九州市議会議員 3期目当選 令和 3年 北九州市議会議員 4期目当選
	所属	立憲民主党福岡県連 幹事長代理 都市計画審議会委員、保健福祉委員会所属 北九州市卓球協会会長 令和7年1月1日現在		

北九州市議会議員 白石かずひろ事務所 TEL.093-681-6128 FAX.093-681-6138
e-mail k-sris@hop.ocn.ne.jp URL http://www.shiraishi-k.com

●この市政レポートは、市議会各会派に交付される政務活動費を用いて作成しています。
●重複して送付されたり、宛名変更などがある場合は、お手数ですが白石かずひろ事務所までご一報ください。

北九州市議会議員 八幡東区

白石かずひろの ハートフル通信

No.62 新春号

[発行日] 令和7年1月 [発行人・編集人] 白石一裕

2025

老朽化で 皿倉山スロープカー 新たにロープウェイを提案!! ~納めの12月議会で会派を代表し、質問。今期4年を締めくくる!~



今任期最後の12月議会で登壇

令和七年の新春を健やかに迎えることとお喜び申し上げます。平素よりのご支援に対し心より感謝申し上げます。

昨年は様々なスポーツ国際大会が本市で開催され、大いに盛り上がりを見せました。特に7月に行われたバレーボールネーションズリーグは女性ファンを中心に入場待ちで長い列ができました。また、パルクール世界選手権や卓球のWTファイナルも開催され、熱い戦いが繰り広げられました。

一方で少子高齢化は引き続き進展しており、総人口が90万人を切る日が近づいてきていることも事実として受け止めなければなりません。しかし人口減少を憂いても仕方ありませんし、この街の魅力は「人」であり「地域」とであると確信しています。

この街に生まれ育ったことに「誇り」を持ち、若い世代やお子さんの世代に素晴らしい財産を残していきたいとの想いからされています。

ソレイユホールの一時閉鎖を、再開前提で糾す質問!!

12月議会が12月3日~12月11日(9日間)開催され、会派を代表して質問に立ちました。詳細は中面で報告いたしますが、今任期の最後の締めくくりの質問でした。一昨年2月に市長が代わり、予算など様々な見直しが行われた関係で、各所からご不満の声なども多く寄せられています。市長と議会は対立する立場ではありませんが、政策議論を行う上でそれぞれの主張が激しくぶつかり合っているのは事実です。

他党のキャッチフレーズではありませんが「対決より解決」を望みたいものです。本市の財政は税収こそ増えているものの、まだまだ脆弱のものといっても過言ではありません。そのため、限られた貴重な予算の中で様々な政策や課題解決を図っていかなければなりません。答えが一つの時もありますが、沢山ある場合もあり、悩ましく思う時もあります。しかし大切なことは市民の皆さんが、どう思っているのかが第一であると考えています。様々な課題に立ち向かい、解決や安心をお届けしていきたいと決意を新たにしているところです。

これからも皆様の声をお聞かせいただき、提案だけで終わらせない実現させる政治を心掛けてまいります。

12月議会質問

- ① 旧九州厚生年金会館の今後について
- ② 通学路の更なる安全強化について
- ③ 皿倉山スロープカーについて

2面に質疑答弁(一部)を掲載しています。

質問 「旧九州厚生年金会館の今後」について

Question

旧九州厚生年金会館は昭和59年に開館した多目的ホールとホテル結婚式場からなる多目的施設で、北九州ソレイユホールは2000人以上が入れる市内唯一のホールだ。本市の文化芸術に欠かせない施設でもある。施設全体の老朽化で、必要な改修について検討時期がきていることから、令和7年4月1日から再開を前提に休館するとしている。ついては今後の方向性や、2000人以上収容可能なホールの必要性について、どう考えているのか伺う。



都市ブランド創造局長

答弁

Answer

旧九州厚生年金会館は平成22年に市が取得して以降、ホール・ホテル共に公設民営の施設として民間事業者が運営してきた。このうちソレイユホールは市内でも最大規模の2008席を有し、多彩な文化芸術の鑑賞機会の提供がされてきた。一方で、竣工から40年が経過しており、外壁や屋上防水の劣化に加え、耐用年数を経過したボイラー、電気、給排水設備などの部品調達も難しくなっている。また、舞台照明や音響等も含め全体的な老朽化が進んでいる。この状況を踏まえると、事業の主権者や観客の安全利用のため、早期に老朽化の実態を把握し、適切な対応を検討することが重要であると考えている。施設全般の大きかりな調査を行うためホテルやホールを運営しながらは難しいと判断した。

この調査により必要な箇所を抽出・分析し改修工事の概算費用を積算した上で、工事の範囲や優先順位など、今後の方向性を検討していく。また2000人以上の収容可能なホールの必要性について、これまで様々なコンサート等を開催する関係者と協議する中では、民間の収益確保のため2000席以上の客席数が求められる場合が多い。

ソレイユホールの休館により、一定期間、興行にも影響が出ると思うが、施設老朽化の状態把握のため、避けては通れないと考えている。

今後は、北九州芸術劇場や西日本総合展示場をはじめとした他施設への対応などの利用調整に努め、影響を小さくする努力をする。

質問 「皿倉山スロープカー」について

Question

皿倉山スロープカーについては山麓駅からケーブルカースロープカーの運行時間や乗車定員に課題がありスロープカーの乗車待ちがかなり出ている。加えてスロープカーの更新時期が近づいていることや、新たな交通手段・輸送手段の導入も含め、あり方について検討する時期と考える。更新の計画や時期などをどう考えているか。また皿倉山が門司港エリアと並ぶ本市の代表的な観光スポットとなるべく八幡駅から皿倉山まで行ける交通手段を導入するなど、皿倉山が魅力的でさらに賑わう場所となる方法を検討すべきと考えるが、見解を伺う。

市長

答弁

Answer

議員指摘のとおり、現状では、ケーブルカーとスロープカーの定員が異なるため、繁忙期や乗客が集中した場合、一部の方には、乗換え地点で待機していただくなどの課題が生じており、臨時便を運行して対応している。将来を見据え、さらなる観光客を取り込むためにも、新たな輸送手段の導入を含め、在り方を検討すべきときと考えている。このため、今年度、様々な運行手段について、必要となる経費や観光振興面での効果の比較などの調査研究に着手した。来年度以降にはこの結果を踏まえ、交通・観光事業者や学識経験者などで構成する有識者会議を設け、総合的な観点から意見を伺い、ソフト・ハード面での詳細な検討を進める。その結果を踏まえ更新時期などの一定の方向を示したい。

市長への

要望

Request



費用対効果にもよるが、ロープウェイで山麓駅や八幡駅から山頂部分まで直接行けるようになれば、間違いなく夜景観光日本一のスポットとなると思うので、検討をお願いしたい。

早田ひなさん WTTファイナルズ凱旋!!

パリオリンピック女子卓球でシングルス銅メダル、女子団体で銀メダルを獲得し、地元で恩返しできたかなと語っていた早田ひな選手が、11月20日から市立総合体育館で開催されたWTTファイナルズに登場、待ちわびたファンから歓声があがりました。オリンピックで痛めた左腕が完全に復調しきれていない中での出場でしたが、地元北九州での開催のため、ご本人もまずは出場することに集中しているようにもみえました。残念ながら初戦で敗れましたが、試合後は納得の笑顔でインタビューを受けていました。「WTTファイナルズ福岡では沢山の応援ありがとうございました。初戦敗退となりましたが、地元福岡で試合復帰できたことを嬉しく思います。地元北九州の皆さんやファンの皆さんにエネルギーを沢山いただいたので、また次の大会に向けて頑張りたいと思います！引き続き応援宜しくお願い致します」とコメントしました。怪我の一日も早い完全復調をお祈りするとともに今後益々の活躍を期待しています。



三日月 ひそひそ日記

皆さま、新年明けましておめでとうございます。昨年色々ありましたが、我が家の一番のニュースは何といっても「サクとグン」が家族の一員になった事でしょうか！平穩だった我が家が一変、騒がしく、いえ賑やかになりました(苦笑) 最近の父さんは忙しいせいか、ちょっとおかしいです。夕方、母さんが仕事から帰ってきたら、2階から慌てて下りてきて「寝過ぎたあ、ごめん、ごめん」と?? 「あれ?夕方やった」朝と勘違いしたと思ったら、晩酌の焼酎のお湯割りを一口飲んで「あっこれお湯だけや、焼酎入れてない」なんて事がちょいちょいあります(笑) 父さん、1月はまだまだ忙しくなるのでしょ、頑張らないとね！こんな父さんですが、今年も宜しくお願い致します。



済生会 八幡総合病院

ついに新築・移転に!!



記念式典に服部知事からも祝辞



新病院の全景

去る12月14日午前10時より、長年の懸案であった済生会八幡総合病院の新築・移転事業が則松の地において完成し、お披露目を含めた記念式典が挙行されました。新病院の周辺は大変に環境が良く新病院に相応しい場所となりました。病室は77.5%以上が個室となっており患者さんのプライバシー保護の観点からは理想的な病院と言えます。

急性期病棟を中心に高齢者ケア病棟の充実にも継続して取り組み、高齢者に優しい病院を目指します。またハイブリッド手術室や内視鏡手術支援ロボットダビンチも備えており、最新の設備が準備されています。

今回の移転により、10年以上前から、狭隘な敷地での診療や耐震化問題で建て替えを余儀なくされていた懸案がようやく解決され、更に地域の医療の発展に寄与されると共に地域住民にとっても地域包括を含めた連携が図られることが大変喜ばしいと思っています。今後益々の発展を願ってやみません。